

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和4年度 海津特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年 6月22日(水) 13:15~15:15
- 3 開催場所 海津特別支援学校 会議室
- 4 参加者

会長	水谷 芳郎	有限会社吉野屋 代表取締役
副会長	児玉 泉	民生委員(主任児童委員)
委員	高岡 由香	障がい者センター あいさんハウスぎふ施設長
	大橋 恵美子	共同生活援助 れんげの家 所長
	細井 豊年	海津市平田町今尾地区 前区長
	飯田 かゆ美	海津市更生保護女性会 会長
	田内 和子	輪之内町発達支援センターそら 管理者
	古川 朱美	本校 PTA会長
学校側	各務 美保	校長
	平松 均	教頭
	武藤 小百合	事務長
	栞原 正美	小学部主事
	馬淵 陽子	中学部主事
	服部 純	高等部主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校運営について

- ① 学校経営計画及び組織編成
- ② 教育課程の編成
- ③ 年間行事計画
- ④ 授業参観

意見1: 高等部の校内作業実習の様子を参観した。働く意欲をもって頑張る生徒の姿を見ることができ、とてもうれしく思う。社会自立を目指し、意欲をもった丁寧な対応や、ルールを守り精度を上げることが、作業学習する際には大切である。

意見2: 特別支援教育への関心が高まっている。本校では在籍児童生徒数は横ばいだが、他校では設置基準を満たせない場合もあると聞く。本校は設置基準を満たしていると聞き安心した。働き方改革も続いているが、教師を志望する学生の減少は気にかかる。また、本校では月あたりの時間外労働勤務時間が45時間を超過する教員がほとんどいないと聞き安堵している。

意見3: 授業参観で児童生徒の姿を見ることができた。児童生徒が楽しいと思えることが成長につながる。ボールを使って様々な遊び方を工夫していた。学習のねらいを広げるこ

とでアイデアや工夫が生まれるのではないか。

意見4：私の子供も通学している。本校の教育には感謝しかない。

意見5：体育館で小学部の活動を見ることができた。楽しみを感じながら真剣に児童が参加していた。ラジオ体操第二は児童には難しいかもしれない。

意見6：校内の手洗い場を利用したが、トイレの使い方などが視覚的にわかるように案内が工夫されていた。小学部の授業では言語聴覚士も参加するなど個々に応じた教育がなされていた。高等部の作業を見て、地域産業とのかかわりや助け合いの大切さが感じられた。学校は地域と結びついて存続していくものである。その意味で児童生徒数の減少が懸念されるが、通学区域の拡大はできないか。

意見7：授業を参観したが参観する側も楽しかった。身だしなみを整えるなどきちんと課外の時間との線引きがされていた。我々も真面目さや勤勉さを見習うべきである。展示されていた児童生徒の作品はどれも力作ばかりだった。人数が少ないので多学年での合級授業はやむを得ないと思うが、所属学年で身に付けさせたい力はそれぞれあると思う。学区の都合もあるが、児童数がもう少し増えるとよいのではないか。

意見8：地域の学校として地域住民にも本校の様子を知っていただきたい。近隣の銀行などでは、学校新聞「かがやき」が展示されている。このような情報発信が大切である。情報発信の場を探す必要があれば、ぜひ協力したい。

(2) 作業製品販売価格について

質問1：陶芸班の作業製品の価格設定が低い。もう少し高めに価格を設定してはどうか。

回答 ⇒ 釉薬代、粘土代、電気代などを加味して価格を設定している。県の予算で行う作業学習の販売として、適正な価格設定を行っている。

議決 ⇒ 現在の価格設定を承認する。原材料価格の変動など、価格設定に変動の必要が生じた場合は、第2回の本協議会で協議する。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針及び、作業製品販売価格について承認が得られた。第2回学校運営協議会は10月25日(火)、第3回は2月を予定している。